

研究課題名	放射線診断画像における被曝軽減・撮影時間短縮のための画像再構成の検討
研究の意義・目的	<p>昨今、我が国の医療被ばくの軽減が重要視されています。病変の様々な代謝情報を画像化する PET・SPECT 検査と形態診断である CT 検査を組み合わせた核医学融合画像検査においても、CT による被ばく軽減のために低線量での撮影が推奨されています。</p> <p>Compressed Sensing (CS) は、不十分なサンプルから原信号を復元する枠組みです。MRI 検査では CS を用いて高速撮像が可能となっています。</p> <p>CT 装置複合機にて撮影された CT 画像から、投影データ数を減らすなどの被ばく量の軽減が可能な CT 画像を作成し、その画像に CS を用い、画像再構成を行います。再構成された画像を評価し、どの程度まで被ばく量の軽減が可能かを検証します。</p>
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023 年 3 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2007 年 5 月 7 日～2022 年 3 月に大阪市立大学医学部附属病院で、核医学検査室の CT 装置複合機にて核医学検査を行なった方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>患者様の基本情報（年齢、性別、診断名）と、核医学検査画像データを使わせていただきます。</p> <p>使用するデータは、匿名化されているもの（どの研究対象者のデータ、情報であるかは判別できない様に管理されたもの）を使用します。</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院核医学科・放射線科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院医学科・放射線科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 核医学 研究責任者 吉田 敦史
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	情報を匿名化する前であれば本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR 学</p> <p>(担当者氏名) 井上 奈穂子</p> <p>電話番号：:06-6645-3831</p> <p>メールアドレス：m2012922@med.osaka-cu.ac.jp</p>